

2026年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

ジェンダー社会科学専攻

一般入試・社会人特別入試・外国人留学生入試

専 門 試 験

試 験 日 : 2025年 9月 7日(日)

試 験 時 間 : 9時30分 ~ 11時30分

【注意事項】

1. 問1、問2、問3のうち、2問を選んで解答しなさい。
2. 設問ごとにそれぞれ別の答案用紙に解答を記入すること。
3. 日本語で解答すること。

問1

社会学者の伊藤将人は、著書『移動と階級』(2025年, 講談社)において、人々の移動をめぐる機会には格差や不平等がみられ、それが原因となってさまざまな問題が生じていると論じている。つまり、現代の社会では、移動できる人と移動できない人、移動しやすい人と移動しにくい人の間で、移動の機会・量・経験に差があり、それを「移動格差(mobility gap)」と呼んでいる。

これらのことを踏まえて、以下の(1)と(2)の問いに答えなさい。

(1) 現代の社会において、「移動格差」として、具体的にどのような現象がみられるだろうか。身近な事例を挙げて、あなたの考えを書きなさい。

(2) (1)であなたが挙げた「移動格差」によってもたらされる問題に対処するために、どのようなことが求められるだろうか、あなたの意見を自由に論じなさい。

問2

日本の育児休業制度は、労働者が、原則として子どもが1歳になるまで育児休業を取得でき、育児休業中には給与の5割～8割に相当する給付金を雇用保険から受け取ることができる仕組みである。これに関して(1)と(2)の問いに答えなさい。

(1) 育児休業取得率は、女性労働者よりも男性労働者の方が低い。その理由を論じなさい。

(2) 企業は、育児休業のため欠員が生じても人員を補充しないことがある。人員を補充しないのはなぜか、また人員を補充しないことが労働者の働き方にもどのような影響を及ぼすかを論じなさい。

問3

世界経済フォーラムによる『第19回グローバルリスク報告書 2024年版』によると、「グローバルリスク」とは、それが発生した場合に、世界のGDP、人口もしくは天然資源のかなりの割合に悪影響を及ぼす事象、または状況が発生する可能性とされている。この報告書に示されている以下の表は、グローバルリスクの短期・長期的な重要度ランキングを示したものである。

これに関して(1)、(2)の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典：世界経済フォーラム、2024年、『第19回 グローバルリスク報告書 2024年版』8頁より一部改変。

https://www3.weforum.org/docs/WEF_The_Global_Risks_Report_JP_2024.pdf

- (1) この表から読み取れることを述べなさい。
- (2) 上記の表の項目のうち、あなたが最も重要と考えるリスクを1つ取りあげ、その解決策もしくは対応策を論じなさい。